

環境に連結したジェスチャーと指示詞

グイ／ガナの道探索実践の事例から

高田 明（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

言語とジェスチャーは、発話者の思考を表現するだけでなく、文化的な意味と存在の世界におけるその位置づけを示す (Merleau-Ponty 1962: 193)。発表者は、南部アフリカの遊動民として知られるサンの中の近縁な2集団、グイとガナにおける民俗知識と身体技法(Mauss 1973)を精査すること、言い換えれば相互行為の参加者がその言葉や身体を通じて1つ1つの行為を達成する際に、複数の記号論的フィールドがどのように関連づけられているのか(M. Goodwin & Cekaite 2018: Kindle location no. 649)を解きほぐすことによって、こうした考察を深めようとしてきた。

グイ／ガナの遊動民としての特色を最もよく反映している活動の1つに、優れた道探索実践(wayfinding practices; Ingold 2000)がある。グイ／ガナの道探索実践は、その生活域の様々なスケールの自然環境に対応する次のような民俗知識や身体技法を背景としている (Takada 2006, 2008, 2016)。(1)草や障害物の少ないポイントの把握：グイ／ガナはブッシュを移動する際にこうしたポイントをすばやく見つけてつなぎ合わせる。(2)特定の樹木の生育場所に関する知識：こうした樹木は移動の際にランドマークとなる。(3)疎林や水たまりを中心とした環境の理解：疎林や水たまりの付近の土地は、キャンプ地として利用されたり、長距離移動の際の経由地点となったりする。(4)疎林や水たまりの連なりの概念化と利用：疎林や水たまりの連なりは、長距離移動のルートとなったり、狩猟採集活動の際の地理的な参照枠となったりする。グイ／ガナはこうした民俗知識や身体技法によって、その生活域における「自然」と「文化」を融合してきたともいえる。

本発表では、こうしたグイ／ガナの道探索実践における相互行為分析の一環として、グイ／ガナにおける環境に連結したジェスチャー(environmentally coupled gesture)と指示詞(demonstrative)の関わりに焦点をあてる。C. Goodwin (2007)は、環境の中の事物と身体化された行為をつなぎ、そうした事物をその行為者と関連づけて分類するジェスチャーの働きに注目し、そうしたジェスチャーを「環境に連結したジェスチャー」と呼んだ。さらに Takada (2016)は、グイ／ガナが道探索実践においてしばしば環境に連結したジェスチャーを用いることによって、広大な環境の中で自分たちの移動経路を直示的に指し示したり、その環境内のランドマークを描写したりすることに注目し、こうしたジェスチャーの使用が環境との親密な関わりを切り結ぶことに大きく寄与していると論じた。

グイ／ガナの道探索実践では、こうした環境に連結したジェスチャーはしばしば指示詞とともに現れる。グイ語／ガナ語には、それぞれ近接と遠隔を示す *ŋĩĩ* と *ʔáá* という2つの指示詞がある。グイ／ガナは、これらの指示詞と方向を表す小辞 *dá* や場所を表す小辞 *χò* などを組み合わせて用いることで、環境の中での道探索を行う人とその移動経路やランドマークとの関係を言語的に詳細に区分して表すことができる。本発表では、グイ／ガナの道探索実践において、どのような文脈でこれらの指示詞が現れ、それが環境に連結したジェスチャーとどのように組み合わせられ、それによってコミュニケーションにおいてどのような働きを担っているのかについての相互行為分析を行う。さらにこれらの分析に基づいて、言語人類学や感覚の人類学 (Anthropology of Senses) において近年注目されている「身体－精神－環境の感覚的な連関 (Howes 2005: 7)」のグイ／ガナにおける特徴的な実現のされ方について論じる。

参考文献

- Goodwin, C. (2007) Environmentally coupled gestures. In S. D. Duncan, J. Cassell, & E. T. Levy (eds.), *Gesture and the Dynamic Dimension of Language* (pp.195–212). John Benjamins.
- Goodwin, M. H. & Cekaite, A. (2018) *Embodied family choreography: Practices of control, care, and mundane creativity*. Routledge.
- Howes, D. (2005) Introduction: Empire of the senses. In D. Howes (Ed.), *Empire of the senses: The sensual culture reader* (pp. 1–20). Berg.
- Ingold, T. (2000) *The perception of the environment: Essays on livelihood, dwelling and skill*. Routledge.
- Mauss, M. (1973) Techniques of the body. *Economy and Society*, 2, 70–88.
- Merleau-Ponty, M. (1962) *The phenomenology of perception*. (C. Smith, transl) Humanities Press.
- Takada, A. (2006) Explaining pathways in the Central Kalahari. *Senri Ethnological Studies*, 70, 101–127.
- Takada, A. (2008) Recapturing space: Production of intersubjectivity among the Central Kalahari San. *Journeys: The International Journal of Travel & Travel Writing*, 9(2): 114–137.
- Takada, A. (2016) Employing ecological knowledge during foraging activity: Perception of the landform among the G|ui and G|ana. *African Study Monographs, Supplementary*

キーワード：言語人類学、相互行為分析、南部アフリカ、グイ／ガナ、道探索実践